

円安はしばらく続くのでしょうか？地方は大変です・・・

国としての、円安のメリットは、「輸出関連企業への恩恵」が第一に挙げられます。外貨建ての売上金を円に転換すると、大きな利益が出ます。これで株価が上がります。この状況が現在続いております。自動車、精密機械、電子部品などのメーカーです。これらの企業の業績が上がり、社員の給料、賞与が増えて実質賃金が上昇に向かいます。主に大企業です。

次に、「インバウンドが増える」ことです。外国人観光客にとって我が国は「安くて行きやすい国」になり、観光、宿泊と観光地などの小売業が潤います。

円安のデメリットは、「輸入物価が上がる」です。原油などの燃料価格、食料品、飼料など海外から輸入するものの価格が上がり、電気代や灯油、ガソリン、食品価格に大きな影響が出ます。インフラや衣食住に関する価格が上がるので、「実質賃金」が下がり、家計は苦しくなる、これが今の現状であります。さらに、仕入高を価格に転嫁できない「内需関連企業」や「中小零細企業」の利益が圧迫され、経営が増々苦しくなります。インバウンドの恩恵は観光地や都市部など一部だけが潤うこととなります。

地方ほど円安は厳しいです。例えば道北地方ですが、「内需関連企業」がほとんどであり、寒冷地なので、燃料価格の上昇は「中小零細企業」や「一般家庭」への影響は大きいです。

ガソリン、軽油価格高止まりは、物流コストを上げるので、食料品や日糧品の価格上昇につながります。また、寒冷地では灯油が生活必需品ですが、高くて困ります。中小企業などの仕入れコストが上がり、価格転嫁もなかなか難しく、このような状況で「インフレに負けない賃上げ」などはハードルがかなり高くなります。過疎化の進行による売上高の減少も問題です。

私は、運輸業を経営しており、毎日、原油価格をチェックし記録しておりますが、現在、原油価格は1バレル（約1600）、60ドル前半～中盤で推移しており、昔から見たら高くなっておりますが、一時ほどではありません。令和2年4月には、コロナ禍において1バレル、20ドル位まで下がっており、令和4年6月には、122ドルをつけここ数年の高値となっております。主に産油国の増産、減産により変動します。今の燃料価格の高止まりは、むしろ為替が円安の影響が大きいと感じております。1ドル、110円であったものが、157円近辺になると、単純に1.4～1.5倍の価格になります。暫定税率廃止は良かったです。軽油やガソリン価格が下がりました。しかし、灯油には暫定税率がないので「高い、苦しい」は続いております。私の家では冬期間、毎月4万円近くの灯油代がかかっております。

要は、円安は輸出関連企業の業績を押し上げ、日経平均株価も相当に上がっており、その恩恵は、大企業とその社員や国内外の投資家が受けますが、地方の中小企業や一般家庭にはあまり良いことはありません。

外国為替は、国の信用度、経済の強さ、金利差など様々な要素で変動するので、プロの投資家でも先を読むのは難しいと言われております。現在の円安は、日米の金利差が主な要因だと思います。日本銀行も異次元の金融政策を解除し、短期金利（銀行間の1日間など短い期間の貸借のレート、日本銀行が調節、政策金利）をマイナスから0.7%近辺へ引上げし、長期金利（10年もの国債の市場レート、市場取引で決まる）は、ほぼ0%から現在2.3%近辺で推移、これでも米国の金利とくらべて2~3%低いのです。これ以上、政策金利を上げると企業融資や住宅ローン、マイカーローンの金利が上がるので、今後、日本銀行の利上げは慎重になると思います。日本銀行の金融政策の転換は、市場金利を引上げましたが、ドル円相場の是正には効果がなかった、という結果です。物価高は続き、住宅ローンなどの金利が上がりました。

米国もこれ以上の円安は自国産業への影響を考慮し、望んではないと思います。170円超えなど円安が進むなら日本政府へなんらかの牽制があると思います。

また、政府としては輸出関連企業を中心とした好業績はなくしたくありません。円安により、過去最高の日経平均株価を更新続けてきました。これは金融投資政策として大成功ですから、引続き、大企業や都市部の経済政策を重点に、今後は世界的な競争力を回復するため、半導体関連投資などを活発化します。円安の是正にはやや消極的な姿勢を取るような気がします。何も無い地方は後回しで、せめて助成金や補助金政策と2年間限定の食料品の消費税ゼロ政策位でしょうか。

最後になりますが、外国為替は政府や日本銀行が「為替介入」を行っても、一時的に円高になりますが、すぐに円安に戻されます。世界の金融市場が相手の取引ですから、一国だけではどうにもなりません。当面、2~3年は、今の水準の円安状況は続くと思います。モノの値段が高止まりし、地方は厳しい経営や暮らしが続くような気がします。ぜひ政府には「真の地域創生」に取り組んでいただきたいと思います。過疎化が進み、少子高齢化で若い人材は都市部へ流出、「経済のパイ」は縮むばかり、先行き不安しかありません。

希望を言えば、1ドル、120~130円位にして欲しいものです。

ちなみに、私はプロの投資家ではありません。あくまでも個人的な見方です。

以上

令和8年2月 士別軌道 社長 井口裕史 68歳